

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月20日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン

コード番号 4929 URL http://www.adjuvant.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136

四半期報告書提出予定日 平成29年1月27日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年3月21日～平成28年12月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	3,681	7.0	624	△4.8	631	△12.6	443	2.5
28年3月期第3四半期	3,440	0.6	655	△5.3	722	0.9	432	6.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 434百万円 (2.0%) 28年3月期第3四半期 426百万円 (5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	55.89	55.59
28年3月期第3四半期	55.00	54.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	5,923	4,640	78.3	586.69
28年3月期	5,500	4,441	80.7	558.00

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 4,640百万円 28年3月期 4,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年3月21日～平成29年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,760	8.2	450	△30.4	456	△35.4	291	9.7	36.82

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料4頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	7,959,600株	28年3月期	7,959,600株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	50,000株	28年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	7,926,145株	28年3月期3Q	7,856,225株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

(注) この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善は続いておりますが、個人消費につきましては、弱含みに推移しております。一方、英国のEU離脱問題や米国の大統領選挙の影響による海外経済の不確実性の高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。美容業界におきましては、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン※注1経営において厳しい環境が続いており、当社商品を販売するA・C・Sサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、営業方針を「顧客の創造・顧客の固定化」「カウンセリングの徹底」「知識・技術習得の強化」「年間販促計画(キャンペーン)の活用推進」として掲げ、サロンの安定した経営サポートを目指しながら、既存主力商品の拡充に注力いたしました。

近年より取り組んでおります非正規流通取引先※注3との契約解除の影響はありますが、第1四半期連結累計期間より、エクシードシステム株式会社を新たに子会社化したことにより、売上高は増加いたしました。

なお、A・C・Sサロン登録軒数につきましては、当第3四半期連結会計期間末に7,478軒(前期末比281軒増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,681百万円(前年同期比7.0%増)となりました。人件費の増加や研究所の本稼働による研究開発費の増加により利益面では、営業利益624百万円(前年同期比4.8%減)、前年同期の保険解約返戻金及び受取補償金計上の影響により経常利益631百万円(前年同期比12.6%減)、第1四半期連結累計期間にエクシードシステム株式会社を連結子会社にしたことに伴う段階取得に係る差益の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は443百万円(前年同期比2.5%増)となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額	増減率
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	(%)
スキンケア	1,690	49.1	1,595	43.4	△94	△5.6
ヘアケア	1,868	54.3	1,823	49.5	△44	△2.4
カラー剤	48	1.4	35	1.0	△13	△28.4
その他	103	3.0	503	13.7	400	387.9
売上割戻金	△270	△7.8	△276	△7.6	△5	—
合計	3,440	100.0	3,681	100.0	240	7.0

(注) 1. ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)、エクシードシステム株式会社(連結子会社)の売上高は、その他に含んでおります。

2. 第1四半期連結累計期間より、従来「その他」に区分しておりました「ボディシリーズ」を「スキンケア」に含めております。また、平成28年3月21日付でイノベーション・アカデミー株式会社を吸収合併したことに伴い、「その他」に区分しておりました同社の売上高を各区分に組み替えております。この結果、前第3四半期連結累計期間の売上区分の組み替えを行っております。

3. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は次のとおりであります。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額	増減率
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	(%)
国内売上高	3,219	93.6	3,473	94.3	254	7.9
海外売上高	221	6.4	208	5.7	△13	△6.0
合計	3,440	100.0	3,681	100.0	240	7.0

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、AEクリアジェルの販売が好調に推移いたしました。昨年度リニューアルした主力商品の売上高が低調に推移したため、非正規流通取引先との契約解除による売上減少を補うには至りませんでした。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,595百万円(前年同期比5.6%減)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、非正規流通取引先との契約解除に伴う影響により減少しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,823百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

(カラー剤)

カラー剤商品の売上高は、計画に対し進捗の遅れが目立っておりますが、専任担当が全国のA・C・Sサロンに積極的な営業活動を行い、当社のカラー剤であるRe:)>>>ナチュラルカラーの拡販に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は35百万円(前年同期比28.4%減)となりました。

(その他)

その他の区分には、第2四半期連結累計期間より、エクシードシステム株式会社の売上高が含まれております。

なお、MAPシステム※注4におきましては、当第3四半期連結会計期間末における契約件数が259件(前期末比6件減)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は503百万円(前年同期比387.9%増)となりました。

※注1「サロン」

美容室、理容室、エステティックサロンを指します。

※注2「A・C・Sサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたA・C・S加盟規約を遵守することを確約したサロンを指します。

※注3「非正規流通取引先」

カウンセリングを行わずインターネット等による販売を行うA・C・Sサロン、代理店を指します。

※注4「MAPシステム」

サロンの顧客管理、経営分析のために提供しているクラウド型経営サポートシステムを指します。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して423百万円増加し、5,923百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して51百万円減少の3,828百万円となりました。主な変動要因は、受取手形及び売掛金の増加234百万円、商品及び製品の増加68百万円、コマーシャル・ペーパーの償還による有価証券の減少499百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して474百万円増加の2,095百万円となりました。主な変動要因は、有形固定資産の増加203百万円、第1四半期連結累計期間にエクシードシステム株式会社を連結子会社にしたことに伴うのれんの増加85百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して116百万円増加の761百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加35百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加42百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して107百万円増加の521百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金の増加73百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して198百万円増加の4,640百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加443百万円、配当金の支払による減少189百万円、エクシードシステム株式会社を連結子会社にしたことに伴う自己株式の取得による減少45百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年4月22日付「平成28年3月期決算短信」で公表しました業績予想値を修正しております。詳細につきましては、本日(平成29年1月20日)公表いたしました、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,288,526	2,262,765
受取手形及び売掛金	445,962	680,587
有価証券	499,994	—
商品及び製品	467,656	535,889
原材料及び貯蔵品	18,419	30,595
その他	162,846	324,908
貸倒引当金	△3,644	△6,354
流動資産合計	3,879,761	3,828,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	770,490	875,836
その他	585,206	737,363
減価償却累計額	△373,757	△427,717
有形固定資産合計	981,938	1,185,481
無形固定資産		
のれん	—	85,136
その他	44,615	35,029
無形固定資産合計	44,615	120,166
投資その他の資産		
その他	600,082	797,553
貸倒引当金	△5,730	△7,890
投資その他の資産合計	594,351	789,663
固定資産合計	1,620,905	2,095,311
資産合計	5,500,667	5,923,703
負債の部		
流動負債		
買掛金	125,661	161,356
1年内返済予定の長期借入金	—	42,840
未払法人税等	147,731	127,622
賞与引当金	104,589	48,896
その他	267,071	380,567
流動負債合計	645,053	761,283
固定負債		
長期借入金	—	73,980
退職給付に係る負債	35,465	34,143
役員退職慰労引当金	341,000	355,490
資産除去債務	26,631	26,535
その他	11,043	31,814
固定負債合計	414,139	521,964
負債合計	1,059,192	1,283,247

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	757,176	757,176
資本剰余金	717,107	717,107
利益剰余金	2,970,524	3,223,711
自己株式	—	△45,550
株主資本合計	4,444,808	4,652,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,326	△6,079
為替換算調整勘定	13,992	△5,909
その他の包括利益累計額合計	△3,334	△11,989
純資産合計	4,441,474	4,640,456
負債純資産合計	5,500,667	5,923,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年12月20日)
売上高	3,440,735	3,681,909
売上原価	1,225,355	1,332,398
売上総利益	2,215,380	2,349,511
販売費及び一般管理費	1,559,759	1,725,152
営業利益	655,620	624,359
営業外収益		
受取利息	1,966	2,135
受取配当金	887	205
保険解約返戻金	42,384	—
受取補償金	21,542	—
受取家賃	—	684
為替差益	1,191	347
雑収入	2,061	3,898
営業外収益合計	70,033	7,271
営業外費用		
支払利息	43	616
保険解約損	3,369	—
雑損失	2	8
営業外費用合計	3,415	624
経常利益	722,239	631,006
特別利益		
投資有価証券売却益	1,431	22
段階取得に係る差益	—	27,442
特別利益合計	1,431	27,465
特別損失		
固定資産除却損	583	—
特別損失合計	583	—
税金等調整前四半期純利益	723,086	658,471
法人税、住民税及び事業税	259,235	209,675
法人税等調整額	31,743	5,778
法人税等合計	290,978	215,453
四半期純利益	432,108	443,017
親会社株主に帰属する四半期純利益	432,108	443,017

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月21日 至 平成27年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月21日 至 平成28年12月20日)
四半期純利益	432,108	443,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,954	11,246
為替換算調整勘定	△127	△19,901
その他の包括利益合計	△6,082	△8,655
四半期包括利益	426,025	434,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	426,025	434,362
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。